

2023年度 事業報告書

事業年度 自 2023年 4月 1日
(第14期) 至 2024年 3月31日

公益社団法人日本パブリックゴルフ協会
東京都中央区入船二丁目10号8番

(A001891)

2023年度事業報告書目次

■協会の概要	
1. 当法人の現況に関する事項	1
■公益目的事業1. ゴルフ競技会開催事業	
1. 開催競技及び競技参加者数	4
2. 競技の改善点	5
3. 競技開催実績	6
4. 機関紙の発行	12
■公益目的事業2. ゴルフ普及振興事業	
1. セミナー・研修事業	13
2. 交流・協力事業	13
3. 調査・研究事業	14
4. 他団体との協賛・後援	14
■その他の事業1. 収益事業 ハンディキャップ普及振興事業	
1. ハンディキャップ普及振興事業	15
2. JGAコースレート査定事業	16
■その他の事業2. 助成金事業	17
■むすび	17

■協会の概要

1. 当法人の現況に関する事項

(1) 会員に関する事項

① 会員数

単位: 団体

種類	前年度末	当年度末	増減
正会員	50	51	+1
準会員	4	4	0
賛助会員	16	16	0
合計	70	71	+1

② 地区別正・準会員数

単位: 団体

東日本地区	中部日本地区	西日本地区	合計
20	8	27	55

③ 入退会の状況

単位: 団体

	区分	会員数	会員名
退会	準会員	1	グレースリッジカントリークラブ
	賛助会員	1	Terra Motors 株式会社
入会	正会員	1	セブンハンドレッドクラブ
	準会員	1	JGM サラブレットゴルフクラブ
	賛助会員	1	株式会社 D-PROJECT

(2) 主たる事務所及び職員に関する事項

① 主たる事務所

東京都中央区入船2-10-8 オーク入船ビル4階

② 職員に関する事項

職員数 合計5名(部長1名、課長1名、職員3名)

(3) 役員会等に関する事項

① 社員総会

定時社員総会	開催日	開催場所
	2023年6月21日	安保ホール(愛知県)
(議事事項)		
決議事項	第1号議案	2022年度財務諸表及び付属明細書並びに財産目録(案)承認の件
報告事項	第1号報告	2022年度事業報告書及び付属明細書の件
	第2号報告	2023年度事業計画書の件
	第3号報告	2023年度正味財産増減予算書の件
臨時社員総会	開催日	開催場所
	2023年11月9日	ホテルニューイタヤ(栃木県)
(議事事項)		
決議事項	第1号議案	役員選任(案)の承認の件

② 理事会

	開催日	開催場所
第1回	2023年5月31日	みなし決議
第2回	2023年6月21日	安保ホール(愛知県)
第3回	2023年10月5日	みなし決議

第4回	2023年11月9日	ホテルニューイタヤ(栃木県)
第5回	2024年3月4日	ニューウェルシティ宮崎(宮崎県)

③幹部会

	開催日	開催場所
第1回	2023年6月21日	安保ホール(愛知県)
第2回	2023年11月9日	ホテルニューイタヤ(栃木県)
第3回	2024年3月4日	ニューウェルシティ宮崎(宮崎県)

④委員会(総務・財務、事業・ハンディキャップ、競技)

	開催日	開催場所
第1回	2023年4月上旬	WEB 会議
第2回	2023年7月中旬	WEB 会議
第3回	2023年9月下旬	WEB 会議
臨時	2023年10月25日	銀座フェニックスプラザ(東京都)
第4回	2023年12月中旬	WEB 会議

※臨時委員会:事業・ハンディキャップ委員会を開催

⑤全国運営委員会

	開催日	開催場所
第1回	2023年8月25日	WEB 会議
第2回	2024年2月9日	WEB 会議

⑥スポンサー会議

	実施日	開催場所
第1回	2023年10月25日	銀座フェニックスプラザ(東京都)

⑦会計監査

	実施日
第1回	2023年5月19日

(4) 対処すべき課題

①競技参加者数の拡大

2023年度はコロナ禍でのスタートとなったが、2023年5月に感染症法上の分類が5類に変更され、行動制限が大幅に緩和されたことから、選手権競技の参加人数は、11,714名となり、前年度比で219名(+1.9%)の増加となった。

一方で、アンダーハンディ競技は、開催会場数減少の影響から、前年度比281名(▲4.0%)の減少となった。また、スクランブルアマチュアゴルフアース選手権の参加人数減少の影響もあり、全競技参加者数は29,004名(前年度比▲0.7%)となった。

競技参加者数の拡大は引き続き重要な課題である。今後も、徹底した感染症対策を取り、安全に競技会を開催していく。また、メイン競技のアマチュアゴルフアース選手権をはじめとする競技参加者数減少に歯止めをかけるため、開催会場のさらなる拡大を目指す。

②ハンディキャップ普及事業の推進

当協会のJGA公式ハンディキャップ取得者は約12,000名で、高額なゴルフ会員権の取得を必要とせず、誰でも低廉な登録料で手軽に取得できる点から、多くのアマチュアゴルファーの支持を得ているが、取得者は減少傾向にある。

JGA公式ハンディキャップの普及は、全てのアマチュアゴルファーと、ゴルフ普及のための活動に極めて重要である。また、ハンディキャップ取得者の拡大には、同時に取得したハンディキャップが使用出来る競技会を、数多く提供することが効果的であると考え、同一競技を同日開催出来る、スロープレートによるアンダーハンディ競技のPGSスポンサー杯を、2021年度より年間延べ200を超える会場で開催している。また、全日本スロープレートアンダーハンディ競

技を、スポーツ庁長官杯第7回ゴルフフェスタ全国大会(公益財団法人日本ゴルフ協会との共催)を兼ねて、9月に全国20コースで開催し、147名の参加を得た。

「全日本スクランブルアマチュアゴルフフェーズ選手権」、「PGSチャリティー東日本パブリックダブルスゴルフ選手権」、「PGS中部日本ダブルス選手権競技」に4,490名が、ハンディキャップ取得者を対象にしたクラス別スクラッチ競技「PGSチャリティー東日本スクラッチアマチュアゴルフフェーズ選手権」、「PGS中部日本ガチごる5」には248名が参加した。また、社会人ゴルファーを対象とした「全日本ビジネスゴルフフェーズ選手権」には1,392名(前年度比+304名)が参加した。

③正会員・準会員・賛助会員の拡大

正会員・準会員数は、2009年度の90団体をピークとして、2023年度末には55団体まで減少した。

また、賛助会員は2022年11月に会員制度を口数制度(1口50,000円から)に変更したことを受け、会員数は2023年度末には16団体となった。

■公益目的事業1 ゴルフ競技会開催地業

1. 開催競技及び競技参加者数

(1) 競技参加者数

競 技			2022年度	2023年度	前年度比 (人数) (%)	
＜スクラッチ競技＞						
①アマ選 (アマ選、 女子アマ選)	男女別	男子	2,574	2,514	▲60	▲2.3%
		女子	371	354	▲17	▲4.6%
		計	2,945	2,868	▲77	▲2.6%
	地区別	東日本	1,456	1,453	▲3	▲0.2%
		中部日本	564	534	▲30	▲5.3%
		西日本	914	870	▲44	▲4.8%
		全日本シード	11	11	0	0.0%
		計	2,945	2,868	▲77	▲2.6%
②シニア (シニア、女子シニア、 ミッドシニア、女子ミッドシニア、 グランドシニア、 スーパーシニア)	男女別	男子	1,985	2,039	54	2.7%
		女子	488	526	38	7.8%
		ミッドシニア	989	1,042	53	5.4%
		女子ミッドシニア	-	21	21	-
		グランドシニア	886	969	83	9.4%
		スーパーシニア	91	123	32	35.2%
		計	4,439	4,721	282	6.4%
	地区別	東日本	1,653	1,735	82	5.0%
		中部日本	1,408	1,445	37	2.6%
		西日本	1,353	1,510	157	11.6%
		全日本シード	25	30	5	20.0%
計		4,439	4,720	281	6.3%	
③ミッドアマ	男女別	男子	3,767	3,822	55	1.5%
		女子	344	303	▲41	▲11.9%
		計	4,111	4,125	14	0.3%
	地区別	東日本	1,996	1,946	▲50	▲2.5%
		中部日本	983	962	▲21	▲2.1%
		西日本	1,123	1,208	85	7.6%
		全日本シード	9	9	0	0.0%
		計	4,111	4,125	14	0.3%
◆スクラッチ競技計			11,495	11,714	219	1.9%
＜アンダーハンディ競技他＞						
①スポンサー杯 ／ハンディ杯	ダンロップ杯(含決勝)		3,824	3,247	▲577	▲15.1%
	ブリヂストン杯(含決勝)		2,225	2,139	▲86	▲3.9%
	サンレオ杯		527	887	360	68.3%
	ハンディ杯(含グランドマンズリー)		504	526	22	4.4%
②ドリーム・エイジ			393	610	217	55.2%
③その他						
・月例杯(西日本)			3,222	2,914	▲308	▲9.6%
(中部日本:うきうき旅ゴルフ)			259	189	▲70	▲27.0%
・クラブ対抗戦(東日本)			323	264	▲59	▲18.3%

(中部日本)	123	124	1	0.8%
(西日本)	125	113	▲ 12	▲9.6%
・地区別ダブルス(東日本)	214	118	▲ 96	▲44.9%
(中部日本)	193	246	53	27.5%
・クラス別スクラッチ(東日本)	189	216	27	14.3%
(中部日本)	37	32	▲ 5	▲13.5%
・スロープレートアンダーハンディ競技	95	147	52	54.7%
・スクランブル	4,362	4,126	▲ 236	▲5.4%
・ビジネスゴルファーズ	1,088	1,392	304	27.9%
◆アンダーハンディ競技他計	17,703	17,290	▲413	▲2.3%
総計	29,198	29,004	▲ 194	▲0.7%

2. 2023年度競技の改善点

(1) 46インチを超える長さのクラブの使用制限

2023年度競技より、パターを除き46インチの長さを超えるクラブの使用を禁止した。
対象外競技:全日本ビジネスゴルファーズ選手権、ドリーム・エイジゴルフ大会

(2) 選手権競技予選メダリスト表彰

2023年度より選手権競技の予選1位(タイ含む)選手に対してメダリスト表彰した。
表彰条件:エントリー人数が20名以上の場合に限る。

(3) 選手権競技予選通過者の繰上げ基準の全国統一化

2023年度競技より、予選通過者の中から出場辞退が生じた場合、下記の通り繰り上げ基準を統一した。

①繰上げ率:エントリー人数の20%

②切り上げ期間:地区決勝3日前の13:00まで

(4) 選手権競技地区決勝ウェイティング制度の導入(東日本地区)

2023年度より、選手権競技地区決勝1日目の組合せに空きが生じた場合、出場選手の補充を行うウェイティング制度を導入した。

(5) ビジネスゴルファーズ選手権地区決勝の新設

2023年度より東日本地区と西日本地区にて地区決勝を新設した。

3. 競技開催実績

(1) 競技の概要

<スクラッチ競技>

①全日本アマチュアゴルフフェーズ選手権

A. 2023年度(第56回)全日本アマチュアゴルフフェーズ選手権

(ア) 予選

地区	東日本	中部日本	西日本	合計
予選数	21	11	27	59
参加者数(名)	1,315	450	723	2,488

(イ) 地区決勝

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本 A	千葉よみうりカントリークラブ	5/13(土)～14(日)	183
2.東日本 B	鹿島南蓼科ゴルフコース	5/13(土)～14(日)	175
3.中部日本	伊深の森カントリークラブ	5/15(月)～16(火)	178
4.西日本	グランドオークプレイヤーズコース	5/16(火)～17(水)	172
合計			708

(ウ) 全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	イーストウッドカントリークラブ	6/10(土)～11(日)	182

B. 2023年度(第22回)全日本女子アマチュアゴルフフェーズ選手権

(ア) 予選

地区	東日本	中部日本	西日本	合計
予選数	7	—	10	17
参加者数(名)	121	—	141	262

(イ) 地区決勝

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本	ハーモニーヒルズゴルフクラブ	5/6(土)～7(日)	51
2.中部日本	ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部	4/25(火)～26(水)	73
3.西日本	北神戸ゴルフ場	4/25(火)～26(水)	57
合計			181

(ウ) 全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	ダンロップゴルフコース	5/31(水)～6/1(木)	51

注) 女子アマ、グランドシニア : 同日同会場で全日本大会を開催

②全日本シニアアマチュアゴルフフェーズ選手権

A. 2023年度(第28回)全日本シニアアマチュアゴルフフェーズ選手権

(ア) 予選

地区	東日本	中部日本	西日本	合計
予選数	11	9	20	40
参加者数(名)	871	520	621	2,012

(イ) 地区決勝

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本	JGM 宇都宮ゴルフクラブ	5/25(木)～26(金)	148
2.中部日本	伊深の森カントリークラブ	5/9(火)～10(水)	151

3.西日本	水島ゴルフリンクス	5/24(水)～25(木)	175
合 計			474

(ウ)全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	千葉よみうりカントリークラブ	6/27(火)～28(水)	145

注)シニア、女子ミッドアマ：同日同会場で全日本大会を開催

B. 2023年度(第28回)全日本女子シニアアマチュアゴルフフェーズ選手権

(ア)予選

地 区	東日本	中部日本	西日本	合 計
予選数	8	6	10	24
参加者数(名)	184	140	178	502

(イ)地区決勝

地 区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本	那須野ヶ原カントリークラブ	9/20(水)～21(木)	58
2.中部日本	名古屋広幡ゴルフコース	9/13(水)～14(木)	56
3.西日本	大阪パブリックゴルフ場	9/21(木)～22(金)	52
合 計			166

(ウ)全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	小杉カントリークラブ	10/10(火)～11(水)	65

注)女子シニア、ミッドシニア：同日同会場で地区決勝及び全日本大会を開催

C. 2023年度(第19回)全日本ミッドシニアアマチュアゴルフフェーズ選手権

(ア)予選

地 区	東日本	中部日本	西日本	合 計
予選数	11	8	14	33
参加者数(名)	368	337	310	1,015

(イ)地区決勝

地 区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本	那須野ヶ原カントリークラブ	9/20(水)～21(木)	124
2.中部日本	名古屋広幡ゴルフコース	9/13(水)～14(木)	128
3.西日本	大阪パブリックゴルフ場	9/21(木)～22(金)	121
合 計			373

(ウ)全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	小杉カントリークラブ	10/10(火)～11(水)	119

注)女子シニア、ミッドシニア：同日同会場で地区決勝及び全日本大会を開催

D. 2023年度(第6回)全日本グランドシニアアマチュアゴルフフェーズ選手権

(ア)予選

地 区	東日本	中部日本	西日本	合 計
予選数	8	7	16	31
参加者数(名)	291	342	310	943

(イ)地区決勝

地 区	開催コース	開催日	参加者数(名)
-----	-------	-----	---------

1.東日本	ハーモニーヒルズゴルフクラブ	5/6(土)～7(日)	122
2.中部日本	ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部	4/25(火)～26(水)	107
3.西日本	北神戸ゴルフ場	4/25(火)～26(水)	126
合 計			355

(ウ)全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	ダンロップゴルフコース	5/31(水)～6/1(木)	139

注)女子アマ、グランドシニア : 同日同会場で全日本大会を開催

E. 2023年度(第2回)中部日本スーパーシニアアマチュアゴルファーズ選手権

(ア)男子

部 門	マスターズ クラス	レジェンド クラス	合 計
開催数	1	1	2
参加者数(名)	47	14	61

(イ)女子

部 門	マスターズ クラス	レジェンド クラス	エキスパート クラス	合 計
開催数	1	1	1	3
参加者数(名)	10	4	4	18

F. 2023年度(第1回)西日本スーパーシニアアマチュアゴルファーズ選手権

西日本女子ミッドシニアアマチュアゴルファーズ選手権

(ア)男子

部門:スーパーシニア、開催数:1、参加者数:44名

(イ)女子

部門、ミッドシニア、開催数:1、参加者数:22名

③全日本ミッドアマチュアゴルファーズ選手権

A. 2023年度(第16回)全日本ミッドアマチュアゴルファーズ選手権

(ア)予選

地 区	東日本	中部日本	西日本	合 計
予選数	24	12	31	67
参加者数(名)	1,785	867	1,142	3,794

(イ)地区決勝

地 区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本 A	イーストウッドカントリークラブ	7/22(土)～23(日)	181
2.東日本 B	新君津ベルグリーンカントリー倶楽部	7/27(木)～28(金)	177
3.中部日本	アリジカントリークラブ 花垣コース	7/19(水)～20(木)	176
4.西日本	よみうりゴルフウエストコース	7/26(水)～27(木)	171
合 計			705

(ウ)全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	武庫ノ台ゴルフコース	9/6(水)～7(木)	191

B. 2023年度(第16回)全日本女子ミッドアマチュアゴルファーズ選手権

(ア)予選

地区	東日本	中部日本	西日本	合計
予選数	7	6	7	20
参加者数(名)	149	78	60	287

(イ)地区決勝

地区	開催コース	開催日	参加者数(名)
1.東日本	JGM 宇都宮ゴルフクラブ	5/25(木)～26(金)	31
2.中部日本	伊深の森カントリークラブ	5/9(火)～10(水)	28
3.西日本	水島ゴルフリンクス	5/24(水)～25(木)	24
合計			83

(ウ)全日本

	開催コース	開催日	参加者数(名)
全日本	千葉よみうりカントリークラブ	6/27(火)～28(水)	36

注)シニア、女子ミッドアマ：同日同会場で全日本大会を開催

<アンダーハンディ競技>

①PGSスポンサー杯/PGSハンディ杯

ア. 予選

(ア)開催数

予選数		東日本	中部日本	西日本	全国	合計(名)
PGSスポンサー杯	ダンロップ杯	15	9	18	—	42
	ブリヂストン杯	10	6	8	—	24
	サンレオ杯	5	6	—	3	14
PGSハンディ杯		—	2	—	—	2
合計		30	23	26	3	82

(イ)参加者数

		東日本	中部日本	西日本	全国	合計(名)
PGSスポンサー杯	ダンロップ杯	1,127	668	1,057	—	2,852
	ブリヂストン杯	1,066	335	435	—	1,836
	サンレオ杯	354	263	—	270	887
PGSハンディ杯		—	123	—	—	123
合計		2,547	1,389	1,492	270	5,698

イ. 地区決勝

(ア)ダンロップ杯

地区	開催コース	開催日	エントリー人数
東日本	新君津ベルグリーンカントリー倶楽部	11/14(火)	109
中部日本	ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部	11/2(木)	142
西日本	ダンロップゴルフコース	11/7(火)	144
合計			395

(イ)ブリヂストン杯

地区	開催コース	開催日	エントリー人数
東日本	下館ゴルフ倶楽部	2024/3/5(火)	83
中部日本	ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場	10/17(火)	128
西日本	京都大原パブリックコース	11/17(金)	92
合計			303

(ウ)グランドマンズリー

地区	開催コース	開催日	エントリー人数
----	-------	-----	---------

東日本	千葉よみうりカントリークラブ	10/24(火)	146
中部日本	名古屋広幡ゴルフコース	11/14(火)	143
西日本	北神戸ゴルフ場	12/1(金)	114
合 計			403

②PGSドリーム・エイジゴルフ大会

高齢者の健康の保持増進への寄与は当協会の事業目的の一つであり、2009年度より「PGSドリーム・エイジゴルフ大会」がスタートした。競技は男子65歳以上、女子60歳以上のゴルファーを対象とし、年齢ハンディキャップによる18ホールストロークプレーで競い、ゴルフと健康を結びつけ、遊びの要素も取り入れたユニークな競技である。また、2011年度よりゴルフ市場活性化委員会(GMAC)の後援を受けている。

ア. 予選

(ア)開催数

予選数	東日本	中部日本	西日本	合 計
個人戦	5(8会場)	8	7	23
ペア戦	1(2会場)	3	—	4
合 計	6(10会場)	11	7	27

※18ホール・ストロークプレー

(イ)参加者数

	東日本	中部日本	西日本	合 計
個人戦	190	79	227	496
ペア戦	10	4	—	14
合 計	200	83	205	510

イ. 地区決勝

地 区	開催コース	開催日	参加者数(名)		
			個人	ペア	合計
東日本	下館ゴルフ倶楽部	11/9(木)	13	—	13
中部日本	定光寺カントリークラブ	11/23(月)	21	0	21
西日本	岡山空港ゴルフコース	11/15(水)	66	—	66
合 計			100	0	100

※18ホール・ストロークプレー

【参考:PGSドリーム・エイジゴルフ大会チャリティー募金寄贈】

2023年度PGSドリーム・エイジゴルフ大会のチャリティー募金額は119,177円となった。参加者の善意は、予選コース最寄りの社会福祉団体、および日本赤十字社に寄贈した。

③その他

ア. 月例杯

(ア)PGS西日本月例杯

- A. 開催会場 :西日本地区会員コース
- B. 参加資格 :PGS会員でJGA公式ハンディキャップの取得者
- C. 競技方法 :18ホール・ストロークプレー(アンダーハンディ競技)
- D. 参加者数 :開催数:47開催、参加人数:2,914名(男子:2,636名、女子:278名)

(イ)PGS中部日本月例杯(みんなであきうき旅ゴルフ)

◆予選

- A. 開催会場 :中部日本地区会員8コース

- B. 参加資格 : (a)アンダーハンディ競技 : JGA公式ハンディキャップの取得者
 (b)ダブルペリア競技 : PGS会員、及びJGA公式ハンディキャップ取得を目指すアマチュアゴルファー
- C. 競技方法 : (a)18ホール・ストロークプレー(アンダーハンディ競技)
 (b)ダブルペリア競技
- D. 参加者数

	アンダーハンディ競技		ダブルペリア競技		合計
	男子	女子	男子	女子	
参加人数(名)	144	21	0	0	165

◆決勝

- A. 開催日 : 2024年3月21日(木)
- B. 開催会場 : 名古屋広幡ゴルフコース
- C. 参加資格 : 予選通過者、及び特典(多回数参加者)によるシード選手
- D. 競技方法 : 18ホール・ストロークプレー(アンダーハンディ競技)
- E. 参加者数 : 男子21名、女子3名、合計24名

イ. クラブ対抗戦

(ア)PGS東日本クラブ対抗戦

◆ブロック予選

- A. 参加資格: 東日本地区会員コースの何れかでPGS会員登録をし、JGA公式ハンディキャップを取得しているアマチュアゴルファー
- B. 競技方法
 (a)18ホール・ストロークプレー、アンダーハンディ競技(JGA公式ハンディキャップ)
 (b)ハンディキャップの下限 : 男子部門20.0、女子部門30.0
 (c)順位決定 : 男子部門は出場選手の内、上位5名のネットスコア合計による
 女子部門は出場選手の内、上位3名のネットスコア合計による
- C. 開催日・会場・出場クラブ

ブロック	出場クラブ	ブロック予選	開催日
Aブロック	グレースリッジ、那須野ヶ原、イーストウッド、ハーモニーヒルズ、JGM 宇都宮、下館、新玉村、前橋、紫あやめ	下館ゴルフ倶楽部	10月5日
Bブロック	千葉よみうり、新君津、清里、小淵沢、富士見高原、ウィーゴ、鹿島南蓼科、富士グリーンヒル	千葉よみうりカントリークラブ	10月3日
練習場ブロック	荒川、フラッグス、成城、グリーンパーク	那須野ヶ原カントリークラブ	9月25日

D. ブロック予選代表チーム

各ブロック2クラブ(1クラブ男子部門8名、女子部門5名)

注)決勝大会開催コース、前年度優勝クラブが上位2クラブに入賞した場合は、繰り下げて出場資格を付与する。

E. 参加者数

ブロック	クラブ数	男子	女子	合計
Aブロック	7	63	30	93
Bブロック	4	39	9	48
練習場ブロック	3	18	9	27
予選計	14	120	48	168

決 勝	7	63	33	96
合 計	21	183	81	264

◆決勝大会

- A. 開催会場 : 那須野ヶ原カントリークラブ(栃木県)
- B. 開催日 : クラブ対抗戦 2023年10月30日(月) ※前夜祭は中止
- C. 参加資格 : ①PGS東日本各ブロック予選の男女各上位2クラブ
②決勝大会開催クラブ、及び前年度優勝クラブより各男女2クラブ
- D. チーム編成 : 1クラブ 男子部門8名・女子部門5名
- E. 競技方法 : ブロック予選と同様
- F. 参加者数 : 別掲の通り

(イ)PGS中部日本ゴルフ場対抗戦

- A. 開催会場 : ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部(愛知県)
- B. 開催日 : クラブ対抗戦 2024年3月14日(木) ※前夜祭は中止
- C. 参加チーム : PGS中部日本8コースより16チーム
- D. チーム編成 : 1チーム8名(男女混合)
- F. 参加者数 : 124名

(ウ)西日本パブリックゴルフ場チーム対抗戦

- A. 開催会場 : ベアズパウ ジャパン カントリークラブ(滋賀県)
- B. 開催日 : 2023年4月20日(木)
- C. 参加チーム : PGS西日本コースを中心に15チーム
- D. チーム編成 : 1チーム5名以上8名まで(55歳以上のシニア2名を含む)
- F. 参加者数 : 113名

4. 機関紙の発行

創刊49年目を迎えた「PGSニュース」は、第91号(54ページ)を3月1日付にて発行した。当協会主催競技に関して、競技開催案内、年間競技スケジュール、競技の様様、競技成績等を盛り込んだ。機関紙発行事業は2014年度より独立行政法人日本スポーツ振興センターのくじ助成を受けており、2023年度は20,650部を印刷、競技会の参加者と開催コース等に配付することができた。また、2023年度も、助成事業である「PGSニュース」に連動させる形でメールマガジンを月2回程度配信。PGS主催競技を始め、ゴルフに関する情報をアマチュアゴルファーに提供した。

■公益目的事業2 ゴルフ普及振興事業

1. セミナー・研修事業

(1) PGSセミナー

日時	2023年6月21日(水)	場所	安保ホール(愛知県)
テーマ	JGAが考えるハンディキャップ普及活動とPGSに期待すること		
講師	公益財団法人日本ゴルフ協会 ハンディキャップ委員会委員長 岡田光史		

(2) グリーンキーパー研修会

日時	2023年8月7日(月)	場所	小杉カントリークラブ
テーマ1 発表者1	「コース管理の課題と改善」 小杉カントリークラブ 大平 真範		
テーマ2 発表者2	「ISO14001を通してコースのクオリティ向上を」 ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場 前田 宗明		

(3) ルール講習会

日時	2023年12月11日(月)		
場所	那須野ヶ原カントリークラブ		
内容	R&Aレベル1ルールセミナー		
講師	公益財団法人日本ゴルフ協会 市村 元、大木 隆		
日時	2023年12月8日(金)		
場所	東名古屋カントリークラブ		
内容	R&Aレベル1ルールセミナー		
講師	公益財団法人日本ゴルフ協会 市村 元、鈴木 淳		
日時	2023年12月21日(木)		
場所	ダンロップゴルフコース		
内容	R&Aレベル1ルールセミナー		
講師	公益財団法人日本ゴルフ協会 市村 元、高畑 新一		

(4) ハンディキャップ規則説明会

日時	2024年2月9日(金)	場所	WEB
講師	公益財団法人日本ゴルフ協会 ハンディキャップ委員会委員長 岡田 光史		

2. 交流・協力事業

ゴルフ界を取り巻く環境は厳しいが、ゴルフ市場活性化のためにゴルフ界諸団体は連携・協力して様々な活動を展開する必要がある。このような観点からゴルフ界諸団体と連携・協力して、ゴルフ市場の活性化に向けた活動を展開する。

(1) 日本ゴルフサミット会議

① 日本ゴルフサミット会議参加

	開催日	開催場所
2024年第1回	2024年1月29日	ANA インターコンチネンタルホテル東京

② ゴルフ新年会の開催

	開催日	開催場所
ゴルフ新年会	2024年1月29日	ANA インターコンチネンタルホテル東京

③日本ゴルフサミット会議 運営会議参加

(2)ゴルフ市場活性化委員会(GMAC)

①当協会はゴルフ市場活性化委員会(GMAC)の構成メンバーとして、「はじめよう、続けよう、もっとゴルフを」をスローガンにゴルフ業界の活性化に向けた活動をしている。近年は、20代・30代の若年層ゴルファーのゴルフ実施率を引き上げるべく様々な取組みを実施しており、当協会も各団体と連携し活動を行った。

②定例委員会への参加(毎月1回)

③ゴルフ市場活性化セミナーへの参画

(3)NPO法人日本ジュニアゴルファー育成協議会(JGC)

同協議会の構成メンバーとして、ジュニアゴルファーの育成に連携して活動した。

(4)ジャパングルフフェア2024の後援・ブース出展

一般社団法人日本ゴルフ用品協会主催の第58回ジャパングルフフェア2024が、2024年3月8日(金)～10日(日)の3日間、パシフィコ横浜において開催された。当協会は本イベントを後援するとともに、ブース出展を通じて事業活動のPRを実施した。

3. 調査・研究事業

(1)調査事業

【調査・研究実績】

調査・研究内容	調査対象
使用ボール調査	スクランブル参加者
スポンサー杯参加者アンケート	スポンサー杯参加者

4. 他団体との協賛・後援

(1)一般社団法人日本ゴルフ用品協会に対し後援 :第58回ジャパングルフフェア2024

(2)他団体競技の後援

競技名	主催者
日刊アマゴルフ2023 全日本シングルプレーヤーズゴルフ選手権北海道大会 全日本レディースゴルフ選手権北海道大会	北海道日刊スポーツ新聞社
2024スポーツインダストリーゴルフトーナメント	株式会社スポーツインダストリー

■その他の事業1 収益事業 ハンディキャップ普及振興事業

1. ハンディキャップ普及振興事業

(1) JGA公式ハンディキャップ取得者について

当協会のJGA公式ハンディキャップ取得者は約12,000名で、高額なゴルフ会員権の取得を必要とせず、誰でも低廉な登録料でPGS会員になることにより、手軽に取得できる点から多くのアマチュアゴルファーの支持を得ている。

【参考:JGA 公式ハンディキャップ取得者の推移】

単位：名

2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
18,145	16,958	15,516	15,833	14,312
2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	(前年度比)
12,257	12,668	12,944	11,783	▲1,161

【参考:JGA 公式ハンディキャップの導入状況】

2006年4月現在(導入率72%)

	東	中部	西	合計
会員数	33	11	42	86
JGA採用	31	10	21	62

⇒

2024年4月現在(導入率96%)

	東	中部	西	合計
会員数	20	8	27	55
JGA採用	19	8	26	53

(2) 競技開催実績

新規ゴルファーの獲得と更なるハンディキャップの普及を目的に、気軽に競技を楽しむことが出来るよう、昨年度に引き続き、スクランブル方式の「全日本スクランブルアマチュアゴルファーズ選手権」や、2名1組で参加出来るダブルス競技を東日本と中部日本地区で開催し、更なる普及に努めた。また、社会人ゴルファーを対象とした「全日本ビジネスゴルファーズ選手権」や、ハンディキャップでクラス分けを行い、クラス毎に競う「PGSチャリティー東日本スクラッチアマチュアゴルファーズ選手権」、「PGS中部日本ガチごる5」を開催し、ハンディキャップ取得者拡大に繋がる取組みを行った。

①全日本スクランブルアマチュアゴルファーズ選手権

ア. 参加資格:【チーム戦】4名1チームにて構成できるアマチュアゴルファー

【ダブルス戦】2名1ペアにて構成できるアマチュアゴルファー

【混合ダブルス戦】男女2名1ペアにて構成できるアマチュアゴルファー

イ. 競技方法:18ホール・オリジナルスクランブル方式によるチーム戦並びにダブルス戦

ウ. 開催数

予選 :121開催(東日本53、中部日本21、西日本47)

地区決勝: 30開催(東日本12、中部日本6、西日本12)

決勝 : 12開催

全日本 : 3開催

エ. 参加者数

予選 :1,915名(東日本837、中部日本416、西日本662)

地区決勝:1,157名(東日本473、中部日本279、西日本405)

決勝 : 777名

全日本 : 277名

合計 :4,126名

②PGSチャリティー東日本パブリックダブルスゴルフ選手権

ア. 参加資格:2名1ペアにて構成できるアマチュアゴルファー

イ. 競技方法:【ベストスコアダブルス戦】

フォアボール(ベストスコア)方式/18ホール・ストロークプレー(スクラッチ)

ウ. 開催数:予選:14開催、決勝:2開催

エ. 参加者数:予選:70名、決勝:48名、合計:118名

③PGS中部日本パブリックダブルス選手権競技

ア. 参加資格:【一般の部】2名1ペアにて構成できるアマチュアゴルファー(年齢制限無し)

【シニアの部】60歳以上の2名1ペアにて構成できるアマチュアゴルファー

【ミックスの部】男女2名1ペアにて構成できるアマチュアゴルファー

【女子の部】女子2名1ペアにて構成できるアマチュアゴルファー(決勝のみ)

イ. 競技方法:フォアボール(ベストスコア)方式/18ホール・ストロークプレー(スクラッチ)

ウ. 開催数:予選:12開催、決勝:4開催

エ. 参加者数:予選:142名、決勝:104名、合計:246名

④PGSチャリティー東日本スクラッチアマチュアゴルファーズ選手権

ア. 参加資格:JGA 公式ハンディキャップを取得しているアマチュアゴルファー

【ブラッククラス】 ~9.9

【ブルークラス】 10.0~19.9

イ. 競技方法:18ホール・ストロークプレー(スクラッチ)

ウ. 開催数:予選:14開催、決勝:2開催

エ. 参加者数:予選:140名、決勝:76名、合計:216名

⑤PGS中部日本ガチごる5 ~クラス別スクラッチ選手権~

ア. 参加資格:JGA 公式ハンディキャップを取得しているアマチュアゴルファー

【G-1クラス】 オープン 【G-2クラス】 10.0~14.9

【G-3クラス】 15.0~19.9 【G-4クラス】 20.0~24.9

【G-5クラス】 25.0以上

イ. 競技方法:18ホール・ストロークプレー(スクラッチ)

ウ. 開催数:5開催

エ. 参加者数

G-1:10名、G-2:11名、G-3:2名、G-4:6名、G-5:3名、合計:32名

⑥全日本ビジネスゴルファーズ選手権

ア. 参加資格:年齢25歳以上の社会人アマチュアゴルファー

イ. 競技方法:18ホール・ストロークプレー(スクラッチ)

ウ. 開催数

予選 :16開催(東日本7、中部日本1、西日本8)

地区決勝: 2開催

全日本 : 1開催

エ. 参加者数

予選 :1,028名(東日本485、中部日本72、西日本471)

地区決勝: 285名

全日本 : 110名

合計 :1,423名

2. JGAコースレート査定事業

公平な統一ハンディキャップであるJGA公式ハンディキャップの普及振興のためには、その前提としてゴルフ場のコースレーティングが正確に査定されている必要がある。当協会はコースレート査定を管轄する公益財団法人日本ゴルフ協会(JGA)に対してコースレート査定を希望する会員コ

ースの依頼に基づき、同協会への申請窓口として機能している。

2023年度は、以下のコースでコースレート査定を実施した。

【コースレート査定実施コース】

コース名	理由	再査定日	有効期限
ダイナスティゴルフクラブ北広島	15年経過	2023/5/12	2032年末
新玉村ゴルフ場	10年経過	2023/9/21	2032年末
富士見高原ゴルフコース	10年経過	2023/10/27	2032年末
ハーモニーヒルズゴルフクラブ	15年経過	2023/10/18	2032年末
下館ゴルフ倶楽部	15年経過	2023/10/3	2032年末
新君津ベルグリーンカントリー倶楽部	10年経過	2023/8/28	2032年末
奥津ゴルフ倶楽部	15年経過	2023/8/30	2032年末
米子ゴルフ場	15年経過	2023/8/31	2032年末
瀬板の森北九州ゴルフコース	15年経過	2023/7/25	2032年末

■その他の事業2 助成金事業

本事業はゴルフの普及振興のために活動する団体に対して、助成金事業を実施するものである。

1. NPO法人日本ジュニアゴルファー育成協議会(JGC)

当協議会はゴルフをツールに児童・青少年の健全な育成を目的に活動している。ジュニアゴルファーの育成は青少年の健全育成、並びにゴルファーの底辺拡大の観点から首肯でき、同協議会の活動目的に賛同して助成金事業を実施し活動をバックアップしてきた。2011～2012年度は休止したが、2013年度より復活した。

■むすび

1. 2023年度事業の回顧と今後の展望

コロナ禍でのスタートとなったが、2023年5月に感染症法上の分類が5類に変更され、行動制限が大幅に緩和されたことから、2023年度選手権競技は、11,714名となり、219名(1.9%)の増加となった。アンダーハンディ競技は、開催会場数減少の影響から6,799名(前年度比▲4.0%)、全競技参加者数は29,004名(前年度比▲0.7%)となった。

公益法人のゴルフ競技団体である当協会にとって、競技参加者数の拡大は最も重要な課題である。今後も、メイン競技のアマチュアゴルファーズ選手権をはじめとする競技参加者数減少に歯止めをかけるためにも、加盟コースとの連携と協力に加え、加盟コース以外にも競技会開催会場を拡大し、全てのゴルファーのための活動に取組み、競技ゴルファーの拡大を図るとともに、ゴルフ人口の裾野拡大を目指していきたい。

また、協会方針に沿った一般ゴルフ未経験者や小中学生へのゴルフ授業など、ゴルフ普及活動に取り組んでいる地方自治体への活動支援は、本年度も継続して実施しており、ゴルフ他団体との連携を取りながら行政等への協力を図っていきたい。

公益社団法人日本パブリックゴルフ協会
会長(代表理事) 池田育嗣